

【Ⅲ問25 進学先選択の際の学校への要望】

- ・先生が障害児をもっと理解してほしい（重複障害、8歳）
- ・社会で関わる上で必要なマナー（基本）を子供に教える事を親にも指導して欲しい（重複障害、9歳）
- ・適性を調べる（重複障害、11歳）
- ・1対1でもっとかかわって欲しい（重複障害、12歳）
- ・見学会が遅すぎる（知的障害、11歳）
- ・希望する進路へ向かうための学習（聴覚障害、11歳）
- ・すべてにおいてのスキルの上達（発達障害、8歳）
- ・自閉症を学んでほしい（発達障害、9歳）
- ・特になし（発達障害、9歳）
- ・学校にはなく、自らまだ考えている（悩みとはちがう）（発達障害、10歳）
- ・特にありません（発達障害、10歳）
- ・生活介護となると思いますので、1～8は不要。余暇活動等（発達障害、11歳）
- ・自分に合った指導（発達障害、12歳）

【Ⅲ問26 進学先選択にあたって悩んでいない理由】

- ・医療的ケアに対応できる学校がそこしかないから。（肢体不自由、7歳）
- ・今の学校がいいので中学部に行かせたい（肢体不自由、8歳）
- ・入所施設と連携の学校があるから（肢体不自由、8歳）
- ・本人には質問が理解できません（肢体不自由、9歳）
- ・他に行くところがないため（肢体不自由、10歳）
- ・同じ学校だから（肢体不自由、10歳）
- ・子供にとって最適な選択だから（肢体不自由、11歳）
- ・中高で校内実習、現場実習などがありそれによって適性を見きわめたいと思うから（肢体不自由、11歳）
- ・重度なので、仕事もできないと思うし、まだ先の事なので、まだ悩んでいない。（重複障害、8歳）
- ・重度障害のため通常学級には行けないため（重複障害、8歳）
- ・現在に満足しているから（重複障害、11歳）
- ・特別支援教育になっていないから（重複障害、11歳）
- ・医療ケアに対応できる所は限られているから（重複障害、12歳）
- ・悩むだけの力がないから（知的障害、11歳）
- ・〇〇県立ろう学校（聴覚障害、12歳）
- ・この先どんな障害が出てくるかわからないから、それから決める（難病、10歳）
- ・小、中一貫校だから（発達障害、11歳）
- ・まだ、本人がこれからのびていくと思うから（盲ろう、7歳）

【Ⅲ問27 進学先が決まったり、自分の適性が分かったきっかけ】

- ・病気が完治すれば地元の中学校へ行く。（その他、8歳）